

平成 26 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス							
教科目名	法学	※学修単位		担当教員	空健太		
学年学科	4 年 全学科	通年		必修		単位数	2 単位 JABEE 認定対象
学習・教育目標	(A-1) 100%		JABEE 基準 1 (a) (f)				
<b>授業の目標と期待される効果：</b>  本授業は、法化社会における市民として、法を利用して問題を解決する力を養うことを目標とする。この目標を達成するために、主に授業では次の2点を理解し、2点の技能を身につけることを目指す。  [理解目標] 1. 法が社会において果たしている役割を理解する。 2. 法がどのような歴史的経緯で制定され変化してきたのかを理解する。 [技能目標] 1. 法が想定する社会のあり方を考察することができる。 2. 法を主張の根拠として適切に使用することができる。  これらが達成されたかどうかは、授業中の質疑応答や課題、定期考査によって評価する。		<b>成績評価の方法：</b> 前期：中間試験 100 点(A)+期末試験 100 点(B)+課題 50 点(C) 後期：中間試験 100 点(A)+期末試験 100 点(B)+課題 50 点(C) 学年：前・後期の重みを等しくして成績評価を行なう。  (※1) 教室外学修の内容も各期の中間・期末試験で出題する。 (※2) 授業を妨げるあるいは関係のない行為を行う学生に対しては減点を行う場合がある。該当する行為と減点は以下の通り。 (1)授業中の熟睡とそうように判断できる受講姿勢 (5 点) (2)授業と無関係の作業 (5 点) (3)教員の指示注意等に対する無反応 (5 点) (4)その他 (追加する場合は学生に事前のアナウンスを行ってから実施)					
		<b>達成度評価の基準：</b> 以下に示す要素について総合点の 60%以上まで達していることが必要。具体的な採点基準は、試験・課題とも学生に公開する。  ①授業で扱った法の内容を適切に理解することができる ②授業で取り上げた法の意義や課題を適切に説明することができる ③授業で取り上げた法の歴史的経緯を理解することができる ④現代社会における法の意義を説明することができる ⑤現代社会の特徴と課題を説明することができる					
<b>授業の進め方とアドバイス：</b> 授業は資料を提示しながら、発問を中心として進める。与えられた発問に対して自分の考えを答えること。							
<b>教科書および参考書：</b> 資料『政経 2014』(東京学習出版社)を使用するほか、適宜パワーポイント資料やプリントを配布する。適宜、参考文献を授業で紹介する。							
<b>授業の概要と予定：前期</b>				<b>教室外学修</b>			
第 1 回：年間ガイダンス／身近な法と我々の生活				身の回りにどのような法が存在しているかを調査し、どのように私たちに影響を与えているかを考察する			
第 2 回：法的な思考							
第 3 回：憲法(1)							
第 4 回：憲法(2)				憲法改正の是非を考える			
第 5 回：憲法(3)							
第 6 回：民法(1)				民法 900 条の改正の意味を考察する			
第 7 回：民法(2)							
第 8 回：中間試験							
第 9 回：裁判について考える「殺オオカミ事件」							
第 10 回：刑事法(1)				刑法の課題を考察する			
第 11 回：刑事法(2)							
第 12 回：産業法(1)－独占禁止法							
第 13 回：産業法(2)－独占禁止法				産業に関わる法を取り上げ、その内容・意義・課題を考察する			
第 14 回：その他の法(3)－							
第 15 回：その他の法(3)－							
<p style="text-align: center;">期末試験</p>							
第 16 回：フォローアップ (期末試験の解答の解説など)							

授業の概要と予定：後期	教室外学修
第17回：社会法－労働法(1)	日本の労働の特殊性について考察する。
第18回：社会法－労働法(2)	
第19回：社会法－労働法(3)	
第20回：社会法－労働法(4)	
第21回：社会法－労働法(5)	
第22回：社会法－労働法(6)	
第23回：社会法－労働法(7)	日本における労働問題と裁判の関係について考察する。
第24回：中間試験	
第25回：社会法－会社法(1)	株式会社の意義を他の会社形態との比較を通して考察する。
第26回：社会法－会社法(2)	
第27回：社会法－会社法(3)	
第28回：社会法－会社法(4)	会社法が制定されたことによる社会の変化について考察する
第29回：社会法－会社法(5)	
第30回：現代の法社会と課題	現代社会における法の意義と課題を自らの言葉で説明する。
第31回：現代社会と法	
期末試験	
第32回：フォローアップ（期末試験の解答の解説など）	